
熱血！アニメゲームリーグ戦

阪神虎之介

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

熱血！アニメゲームリーグ戦

【Nコード】

N6439Z

【作者名】

阪神虎之介

【あらすじ】

作者さん達のチームも参加するリーグ戦が幕を開ける！！

それぞれの作品から出てきたみんなが白球を追いかける！！

【登場作品】

・けいおん！・けいおん！！・とある魔術の禁書目録・とある科学の超電磁砲・スーパーマリオブラザーズ・ドンキーコング・ドラえ

もん・こちら葛飾区亀有公園前派出所・ポケットモンスター・ウル
トラマンシリーズ・ウルトラマンゼロ・海賊戦隊ゴーカイジャー・
けいおん！在校生編・けいおん！大学生編

チーム紹介（前書き）

開催の理由は「色々な作品との交流」と考えてもらってください。

後あまり考えずに野球だけ考えてください。

試合はプロ野球の試合を参考にしています。

チーム紹介

【小説ウィテングス】

監督・阪神虎之介

作者さん達で集めたチーム。左腕のエースikkikiを筆頭にコンピューター紀葉等個性的な選手が集まる。

【桜ヶ丘ティータイム】

監督・山中さわ子

「けいおん!」のメンバーだけで集めたチーム。変則投法の平沢唯に恐怖の3番打者平沢憂の平沢姉妹を筆頭に投打共に充実している。

【学園都市ゴールデンガールズ】

監督・木山春生

「とある科学の超電磁砲」の女性キャラのチーム。

一番御坂、二番初春のコンビにエースで四番の佐天が機能すれば壊滅的な打線となるが弱点は打線重視のチームの為、一回押さえ込まれるとダメになる。

【マリオマリナーズ】

監督・マリオ

「マリオ」のチーム。

エースドンキーの球質の重さは論外。マリオルイージ兄弟のクリーンアップ次第で勝敗が左右される。

今はどうか知らないけど昔任天堂がシアトルマリナーズのスポンサーだった関係でチーム名が「マリナーズ」になった。

【ジャイアンズ】

監督・剛田武

ご存じ「ドラえもん」のチーム。

監督兼エース兼主砲の剛田武のワンマンチームかと思えば、天才出木杉、未来の猫型ロボットドラえもん等伏兵が多い。調子こいてると普通に負けます。

【インデックス】

監督・一方通行

「とある魔術の禁書目録」からのチーム。

能力の問題で一方通行が監督に回ったがフラグ建築士上条、タバコを吸う14歳ステイル、妹思いの主砲土御門のクリーンアップが特徴。

【ポケットモンスターズ】

監督・オーキド

「ポケットモンスター」のチーム。

【亀有ポリスマンズ】

監督・両津勘吉

「こちら葛飾区亀有公園前派出所」のチーム。

「両さん」のこと両津勘吉を筆頭に長年「ジャンプ」に連載された力を武器に戦う！

チーム紹介（後書き）

開幕戦

「小説ウィテングスVS桜ヶ丘ティータム」

【小説ウィテングスvs桜ヶ丘ティータイム】試合開始前

＼QVCマリンフィールド＼

幕張メッセの隣にある球場だ。

開門時間前から球場の周りには大勢のファンが詰めかけている。

＼球場内＼

「小説ウィテングス」の面子が試合前のミーティングを行っている。

阪神虎之介

「今回はお集まり頂きありがとうございます」

この作品の作者で一応監督をやる阪神虎之介。ポジションはどこでもやる予定。

阪神虎之介

「皆さんもそうですよ」

ikk i

「そうですか…」

ikk iさん。中日ファンである。左投げのアンダースローから繰り出されるシンカーが武器である。投手の為、中日の投手応援歌を使う。

セブンの独り言

「まあ俺はどこでもやれるけど」

セブンの独り言さん。

強肩強打の捕手。広島東洋カープの石原慶幸選手の応援歌を使う。

しら

「楽しみです！」

しらさん。守備も出来るし打撃も出来る。最高の打者である。千葉ロッテの根元の応援歌を使用。

scarlet

「やってやろうじゃん！」

scarletさん。千葉ロッテファン…所謂マリサポである。急遽電話で作者に「やっぱり細谷に変えて」と言ってきたので千葉ロッテの細谷の応援歌使用。

紀葉

「初戦はけいおんですか」

紀葉さん。頭脳明晰な打撃を持っている。伝説的な守備も魅せる。福岡ソフトバンクの内川選手の応援歌使用。

ウルトラマンゼロ

「勝つぞ！」

ウルトラマンゼロさん。身体能力抜群のヒーローである。DREA

M F I G H T E Rを応援歌使用。

鷹峯

「やりますか」

鷹峯瑛さん。守備が上手く、常にヘッドスライディングの精神を持つ。東京ヤクルトの田中浩康の応援歌使用。

千歳涼介

「けいおん叩きますか!!」

千歳涼介さん。堅実な守備と打撃が持ち味だ。

双樹楨

「昨日は寝ませんでしたよ」

双樹楨さん。足が速く、トップバッターの理想である。千葉ロッテの岡田を応援歌使用。

阪神虎之介

「この日の為に千葉ロッテマリーンズ、阪神タイガース、中日ドラゴンズ、東京ヤクルトスワローズ、福岡ソフトバンクホークスの応援団の方々が来てくれました」

s c a r l e t

「オオ」

i k k i

「洗脳応援か」

阪神虎之介

「では本日のスタメンを発表します」

? 双樹楨 (右)

? 鷹峯瑛 (左)

? 紀葉 (三)

? ウルトラマンゼロ (遊)

? しら (一)

? セブンの独り言 (捕)

? 千歳涼介 (中)

? scarlet (二)

? i k k i (投)

阪神虎之介

「それでは初戦絶対勝つぞ!!!」

全員

「オオ!!!」

〽フィールド〽

「桜ヶ丘ティータイム」の選手が打撃練習を行っている。

ちょうど始まった時と開門の時間が被るのでファンが入ってきた。

山中さわ子
「来たわね…」

【小説ウィテングスVS桜ヶ丘ティータイム】試合開始前（後書き）

出ていない作者さんも試合中は絶対出しますので。

後活動報告の「始めました。」の所注意を見といてください。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】スタメン発表（前書き）

スタメン発表は懲りました（笑）

作者さん呼び捨てなのは勘弁してください。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】スタメン発表

～試合開始30分前～

アナウンス

「それでは両チームの監督によるスタメン交換です」

阪神虎之介

「はいはい」

山中さわ子

「じゃ行ってくるわ」

阪神虎之介と山中さわ子はホームベースに行く。

敷田

「今日の責任審判の敷田です」

阪神虎之介

「よろしくお願いします」

山中さわ子

「こちらこそ」

アナウンス

「お待たせしました。只今よりリーグ戦第1回戦小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイムのスターティングラインアップ及びアンパイアを発表致します。まず先攻の桜ヶ丘ティータイム、一番、ショート、中野梓」

【パラララ〜】 「そ〜れ、あ・ず・さ!~!」
アナウンス

「二番、ライト、秋山滯」

【パラララ〜】 「そ〜れ、み〜お!~!」

アナウンス

「三番、サード、平沢憂」

【パラララ〜】 「そ〜れ、う〜い!~!」

アナウンス

「四番、キャッチャー、田井中律」

【パラララ〜】 「そ〜れ、り〜っ!~!」

アナウンス

「五番、ファースト、琴吹紬」

ハイハイハイ!!」

アナウンス

「続きまして、後攻の小説ウィテングス!! 一番、ライトオ双樹槇」

【ダダン】 「ふぅたゝき!」 【ダダン】 「ふぅたゝき!」 【ダダン】 「ふぅたゝき!」

アナウンス

「二番、レフトオ、鷹峯瑛!」

【ダダン】 「鷹峯!」 【ダダン】 「鷹峯!」 【ダダン】 「鷹峯!」

アナウンス

「三番、サードオ、紀葉」

【ダダン】 「のーりーは!」 【ダダン】 「のーりーは!」 【ダダン】 「のーりーは!」

アナウンス

「四番、ショート、ウルトラマンゼロ!」

【ダダンダン】 「ゼロ!」 【ダダンダン】 「ゼロ!」 【ダダンダン】 「ゼロ!」

アナウンス

「五番、ファースト、しら!」

【ダダン】 「しら」 【ダダン】 「しら」 【ダダン】 「しら」

アナウンス

「六番、キャッチャー、セブンの独り言!」

アナウンス

「七番、センタア、千歳涼介!」

【ダダン】 「ち、と、せ!」 【ダダン】 「ち、と、せ!」 【ダダン】 「ち、と、せ!」

アナウンス

「八番、セカンド、scarlet!」

【ダダンダン】 「scarlet!」 【ダダンダン】 「scarlet!」 【ダダンダン】 「scarlet!」

アナウンス

「九番、ピッチャー、ikki!」

【ダダッダン】 「ikki!」 【ダダッダン】 「ikki!」 【ダダッダン】 「ikki!」

【ピッピッピーピー!】 「オー、ロッテ!」

阪神虎之介

「あ! 応援団リードミスしやがった!」

アナウンス

「アンパイアは主審敷田、塁審、一塁村田、二塁二出川、三塁小寺、公式記録員は中村、試合開始までしばらくお待ちください」

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】スタメン発表（後書き）

桜ヶ丘ティータイムには広島東洋カープの応援団と横浜ベイスターズの応援団が来てます。

小説ウィテングスのスタメン発表は千葉ロッテマリーンズのスタメン発表そのままです。

興味がありましたらYouTubeに投稿されているので

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータム】試合開始！1回表

試合開始直前に阪神虎之介が円陣を組む。

阪神虎之介

「それでは頑張ってください！後、風速12Mなのでお気をつけて
（笑）」

ik ki

「マジかよ！？」

QVCマリンフィールドは海風の影響で風が強い時がある。過去に
「強風による中止」があるほどだ。

今回はバックネット方向に12Mの風が吹く。

アナウンス

「それでは小説ウィテングスの選手が守備に着きます。」

応援

「ワッ！」

ik ki

（嫌だなく、マリンで風が強いのは）

「ik ki! ik ki! ik ki! ik ki!」

スタンドからi k k iさんを応援するコールが聞こえる。

アナウンス

「一回の表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は一番、ショート、中野梓
！」

桜ヶ丘ティータイムはアウェイなので入場曲は無しである。

応援

「かつ飛ばせ！かつ飛ばせ！あずさ！かつ飛ばせ！かつ飛ばせ！あ
ずさ！」

敷田主審

「プレイ！」

i k k i

（最初どうします？）

セブンの独り言

（打ち上げるのは厳禁！低めにシンカーを）

i k k i

（了解）

i k k iさんが振りかぶって投げる！

【ピシュ！】

中野梓

(ボール…)

敷田主審

「ストライク！」

中野梓

「え？」

セブンの独り言

「ナイピー！」

i k k i

「ふう」

セブンの独り言

(次も低めにシンカー…)

i k k i

(了解)

【ピシュ！】

中野梓

(これはストライク？)

【バシ！】

敷田主審

「ストライクツウ！」

中野梓

「ええ！」

平沢唯

「あゝずにゃくん、バット振らなかったらアウトだよ」

真鍋和

「唯…」

平沢唯

「なに？」

真鍋和

「マトモな事言うわね…」

中野梓

（次は…）

セブンの独り言

（内角低めに直球）

i k k i

（OK）

【ピシュ！】

中野梓

（来た！）

【カキイン!】

セブンの独り言

「しまった!」

紀葉さんとウルトラマンゼロさんの間を…

ウルトラマンゼロ

「シュワ!」

中野梓

「ゲッ!」

しかしそのまま一塁送球するが…

【バシ!】

【ダン!!】

しら

「アウト!」

村田塁審

「セーフ」

中野梓

「にゃあ〜」

奥深った為、内野安打に…

i k k i

「クッソ…」

アナウンス

「二番、ライト、秋山滯」

応援

「決めろ！決めろ！滯！決めろ！決めろ！滯！」

「決めろ！」とは送りバントの事である。

実際秋山滯はバントの構えだ。

紀葉

（前進、前進）

しら

（内野は全員前進してるな…）

i k k i

（高めに投げたい）

セブンの独り言

（高めに…）

i k k i

(よしきた)

【ピシュ!】

【カキイン!】

i k k i

「あ!」

まさかの秋山、バスターで打つ。

しかしボールに力無く、セカンド s c a r l e t のフライ…

s c a r l e t

「え? え?」

i k k i

「はあ」

しら

「うそお!」

一塁の方向に来て1、2塁間にポトリ

その隙に一塁ランナーは三塁へ

いきなり無死1、3塁のピンチ!

セブンの独り言

「今のがマリンの恐怖…」

しら

「12Mって凄いですね」

紀葉

「憂でゲッツに取りましょう！」

i k k i

「ああ、この際1点はあげるわ」

アナウンス

「三番、サード、平沢憂」

セブンの独り言

(…しかし高めだと風でどうなるか分からないし低めは読んでるだろうな…)

i k k i

(様子見を)

セブンの独り言

(様子見るかあ)

【ピシュ！】

敷田主審

「ボール！」

i k k i

(それで内角にシンカー…)

セブンの独り言

(外角にシンカーを)

i k k i

(いや内角に)

i k k iさんが顔を横に振る。

セブンの独り言

(じゃあ内角?)

i k k i

(そうそう!)

ちなみに平沢憂は

平沢憂

(i k k iさんのさっきの振りはセブンさんが内角要求したのを外角にしてくれて頼んだんだわ)

i k k i

(ほい!)

【ピシュ!】

平沢憂

「しまった!」

ついバットが出てしまう。

【カアキン！】

フライだ！

i k k i

「キャッチャー！」

セブンの独り言

「オーライ！」

しかし打球は…

フェアゾーンからファウルゾーンへ…

セブンの独り言

「とっとと…あ！」

セブンの独り言さんが足を滑らし、転倒しかけ打球が

敷田主審

「アウト！」

セブンの独り言

「え？」

紀葉

「間に合った…」

三塁から全速力で走ってきた紀葉さんがスライディングキャッチを決めた！

ライトスタンド（小説側）

「オ…！」

平沢憂

「凄い…」

平沢憂も感服するしかない。

アナウンス

「四番、キャッチャー、田井中律」

すると今まで流れていた。「広島東洋カープチャンステーマ？」から元千葉ロッテマリーンズの西岡剛選手の2009年までの応援歌「カチューシャ」に変わった。

応援「オ…オ…オ…オ…オ…オ…オ…オ…オ…オ…オ…オ…」

i k k i

（むしろ…律より憂の方が怖かったw）

セブン独り言

（低めを引っ掛けましょう！）

【ピシュ！】

田井中律

「もらったあ！」

【カキイン！】

scarlet

「はあい♪」

scarletが取って二塁へ

ウルトラマンゼロ

「それ♪」

二出川塁審

「アウト！」

リズムに乗ってウルトラマンゼロさんが一塁へ

しら

「アウト♪」

村田塁審

「アウト」

田井中律

「ぎゃあ！」

41613のダブルプレー！

無死1、3塁のピンチからi k k iさんが乗り切った。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】試合開始！1回表（後書き）

桜ヶ丘—0

小説—

桜ヶ丘

平沢唯／田井中

小説

i k k i／セブンの独り言

【一回表】

？中野梓

2ストライクと追い込まれたがレフト前にヒット。

？秋山濤

送りバントの構えを見せたがヒッティング、12Mの風も味方しラ
イト前にヒット。

？平沢憂

狙いを外されキャッチャーフライと思いきや、またしても12Mの
風が邪魔するが、三塁紀葉が好補。

？田井中律

攻撃的な打撃が裏目に出て、4ー6ー3のダブルプレー。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】1回裏（前書き）

途中で作者さんの名前が呼び捨てになっている箇所がございます。

ご了承ください。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】1回裏

桜ヶ丘ティータイムの攻撃が終わり、桜ヶ丘ティータイムの選手が守備につく。

阪神虎之介

「先発平沢唯ですか」

i k k i

「どうなんだろう？彼女？」

平沢唯

「行くよりっちゃん！」

田井中律

「来い唯！」

平沢唯が投球モーションに入った。

阪神虎之介

「なんだあれ！？」

双樹槇

「うわ！」

千歳涼介

「始めてみるなあフォーム」

紀葉

「変則か」

阪神虎之介

「あっ、でもあれヒラヒラ投法だ！」

i k k i

「よく見るとそうだね」

阪神虎之介

「打てなくは無いだろ？」

双樹槇

「はい」

阪神虎之介が先頭打者の双樹槇さんに話しかける。

アナウンス

「1回の裏、小説ウィテングスの攻撃は、1番、ライトオ、双樹槇」

双樹槇

「ウッシ！」

田井中律

（唯、最初は様子見のボールな）

平沢唯

（うん）

唯が振りかぶって投げる。

【バシ】

敷田主審

「ボール」

双樹槇

（これは様子見だな）

田井中律

（唯、次はコレ）

平沢唯

（うん）

【ピシュ！】

双樹槇

（おっと）

【バス】

敷田主審

「ボールツウ」

双樹槇

（ボールが手前で落ち込んだ、チェンジアップか？！）

双樹槇はそう考える。

田井中律

（唯、決めちゃえ！）

平沢唯

（うん！）

【ピシュ！】

双樹槇

（ストライクゾーンに来た！）

【カキン！】

打ち上げてしまった。

双樹槇

「畜生！」

しかしやっぱり12Mの強風が邪魔し…

バックネットに当たり

敷田主審

「ファールボール！」

双樹槇

「ふう〜」

田井中律

「えー、こんなのあり？」

双樹槇は構え直す。

ライトスタンドから声援が聞こえる。

「双樹！ヒット！双樹！ヒット！」

双樹槇

（じゃあさ）

平沢唯が投げる。

【コン】

双樹槇

（こんなのもありな訳だ）

サード憂へのセーフティーバント

意表をつかれた憂がボールを素手で掴み投げようとするが

双樹槇

「はいセーフ」

平沢憂

「遅かった…」

俊足の双樹楨が塁に出る。

アナウンス

「二番、レフト、鷹峯瑛！」

「黄金魂」の曲に合わせて鷹峯がバッターボックスに入る。

唯一塁にランナーがいるためクイックになる。

鷹峯

（監督、バントしますか？）

鷹峯は阪神虎之介に「バントするか」の確認をする。

阪神虎之介

（まだいいよ）

それを拒否

阪神虎之介

（ゲッツーでもいいから当たっていけ！）

平沢唯がクイックで投げる。

【ピシュ！】

【カキイン！】

初球を上手くレフトに打った。

「オーオーオーオーオオ…」

ヒットテーマが流れる。

アナウンス

「三番、サード、紀葉！」

無死1、2塁のチャンス！

打席には主力打者の紀葉さんが立つ。

観客？

「紀葉ア、打って」

観客？

「紀葉さん！」

だからチャンステーマ発動である。

紀葉さんの場合、元々の曲が福岡ソフトバンクの内川のヒッティン
グマーチなので、福岡ソフトバンクの「ワッショイ」がチャンステ
ーマに使われる。

「ワッショイワッショイ！」

紀葉

「すう、はあ」

打席の中で深呼吸する。

「紀葉！」

紀葉

（風はセンターから吹いてるから、長打は無理、だから軽打で相手のミスを誘う！）

【ピシュ！】

敷田主審

「ストライク！」

紀葉

（そのためには外角の球が欲しい）

田井中律

（外角にボールを）

平沢唯

（は〜い）

平沢唯が振りかぶって投げる。

外角のボールだが

紀葉

（（。▽。キター！）

【ガキン！】

田井中律

「ボール球を打った!？」

ボールはショートの中野梓の目の前に落ちる。

田井中律

「あずさ!一塁!」

中野梓

「はい!」

一塁に送球し、アウトになったが

アナウンス

「四番、ショート、ウルトラマンゼロ!」

ウルトラマンゼロ

「シュワ!」

大型遊撃手である。

ここで初めて山中監督が動く!

山中さわ子

(敬遠しなさい)

田井中律

(はい)

平沢唯

（わかった、さわちゃん）

そして：

敷田主審

「ボールフォア！」

一死満塁

やっぱりチャンステーマが止まらない！

しら

（よっしゃ）

しらさんが気合いを入れ直す。

田井中律

（外野バック、バック）

外野が微妙に下がる。

「ワッショイ！ワッショイ！」

最早、外野スタンドはお祭り状態だ。

平沢唯

（りっちゃん、私低めに投げたい）

平沢唯が田井中律にそう要求する。

田井中律

(いいよ)

しかしこれが命取りになる。

【ピシュ！】

田井中律

「あ！！」

ボールが高めに来た。

しら

「もらったあ！」

【カアキイン！】

渴いた音が聞こえた。

レフトの真鍋和が下がる下がる。

がら空きの外野に落ちた。

「ワアアアアアアア！！」

ライトスタンドから歓声があがる。

真鍋和が打球に追いついて投げても既に3人が返ってきてた。

しらのタイムリー3ベースヒットである。

マウンドに集まる桜ヶ丘ナイン

田井中律

「唯ドンマイ、私が悪かった」

平沢唯

「別にいいよ、失投した私も悪いから」

中野梓

「まだ一回ですから」

田井中律

「それより得点されたショックを背負うなよ」

平沢唯

「うん！」

アナウンス

「六番、キャッチャー、セブンの独り言」

セブンの独り言

「ウッシ！」

「続け、続けセブン！続け、続けセブン！」

一死三塁

レフトスタンドに陣取っている広島応援団は複雑な気持ちだ。

なぜならいつもなら自分らがやる曲だから

平沢唯

（どうするの？）

田井中律

（パワーで押すタイプだから低めで）

平沢唯

（は〜い）

【ピシュ！】

セブンの独り言

（初球は見送る）

敷田主審

「ボール！」

律は唯にボールを返した瞬間、「力抜け」とジェスチャーした。

平沢唯

「ふう〜」

一回深呼吸した後、律を見る。

セブンの独り言

（俺みたいなバッターだったらボール球誘って引っ掛けるはずだ）

自分もキャッチャーであるセブンの独り言は律のリードを予測する。

田井中律

（徹底的に低めを攻めるよ）

【ピシュ！】

敷田主審

「ボールツウ！」

セブンの独り言

（低めを中心に攻めるなあ）

セブンの独り言は敷田主審にタイムをかけた。

敷田主審

「タイム！」

セブンの独り言はバットを構え直す。

セブンの独り言

「どうも」

敷田主審

「プレイ！」

田井中律

（低め！低め！）

平沢唯

(うん！)

ちなみに内野はバックホーム態勢である。(前進守備)

【ピシュ！】

セブンの独り言

(これもボール)

敷田主審

「ストライク！」

セブンの独り言

「ぐっ…」

2ボール1ストライク

平沢唯

「ほい！」

【ピシュ！】

【ガキン！】

ボールはファウルゾーンへ

村田塁審

「ファール」

山中さわ子

「アイツ粘るわね…」

セブンの独り言

「ふ」

平沢唯

「りっちゃんどうしよう」

田井中律

「落ち着け唯」

セブンの独り言

（低めにヤマはるか）

平沢唯がサインを確認する。

田井中律

（徹底的に低め）

平沢唯が振りかぶって投げる。

【ピシュ！】

低めの直球

【カキーン！】

狙い打ちした。

打球はライトに飛ぶ飛ぶ：

しかし風に戻される。

しら

「タッチアップかな？」

さあライトの秋山濤が捕球する！

三塁コーチ

「GO！」

しらさんがタッチアップ！

田井中律

「ノーカット！」

中継しないで直接投げるよう指示。

ライトから良い球が返ってくる！

しらさんがホームベースに突っ込む！

【ズザザザザ…】

判定は：

敷田主審

「セーフ！」

しら

「よっしゃ！」

阪神虎之介

「4点目」

小説410 桜ヶ丘

山中監督がマウンドに行く。

山中さわ子

「唯大丈夫よ、落ち着いていきなさい」

平沢唯

「うん…」

アナウンス

「七番、センタア、千歳涼介」

B・z「Don't wannalie」が流れる。

千歳涼介

「まさか1回で打席に立つとは…」

阪神虎之介

（初回到4点も取れたのは凄い…）

ikki

「すいません、俺は準備しといた方がいいですか？」

さっきまで i k k i さんは鷹峯さんの打席の時からグラウンドの片隅で投球練習をしていたが、もう七番なので打席に立つ準備をするかと聞いてきた。

阪神虎之介

「うーん、八番の s c a r l e t さんが打席に立ったら準備して」

【カキン！】

阪神虎之介

「あ！！」

二出川塁審

「アウト！」

千歳涼介

「チッ」

阪神虎之介

「ナイスバッティング！」

千歳涼介さんはジャストミートイングしたが、余りにも当たりが良すぎてセカンドライナーに終わった。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】1回裏（後書き）

1回裏終了

桜ヶ丘 0 — 0

小説 4 — 4

桜ヶ丘 平沢唯／田井中律

小説 i k k i／セブンの独り言

【小説ウィテングス】

？双樹楨

意表のセーフティーバントで出塁。

？鷹峯瑛

初球打ちでレフト前ヒット。

？紀葉

上手くショートゴロで後に繋げる。

？ウルトラマンゼロ

敬遠される。

？しら

平沢唯の高めの失投を巧打。普通ならホームランだが12Mの風により3ベース。

？セブンの独り言

ライトへの犠牲フライで4点目。

？千歳涼介

ジャストミートイングしたがセカンドライナー。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータム】2回表（前書き）

他球場の途中試合経過

学園都市ゴールデンガールズ対マリオマリナーズ（明治神宮野球場）

学園都市1ー0マリオ（2回表終了）

【学園都市投手】

佐天

【マリオ投手】

ドンキー

インデックス対亀有ポリスマンズ（横浜スタジアム）

インデックス0ー3亀有（2回表途中）

【インデックス投手】

上条

【亀有投手】

両津

ポケットモンスターズ対ジャイアンズ（わかさスタジアム京都）

ポケット0ー6ジャイアンズ（1回表途中）

【ポケット投手】

サトシーレッド

【ジャイアンズ投手】

剛田

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】2回表

先制のタイムリー3ベースヒットを放ったしらさんに応援団がコールする。

「しーら」【ダダン】「しーら」【ダダン】「しーら」

しら

「ありがとう！」

しらさんがライトスタンドへ応える。

スタンドが湧く。

「ワアアアアアアアア！」

アナウンス

「2回表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は、五番、ファースト、琴吹紬」

「むーぎちゃん！」

セブンの独り言

（パワーヒッターだ、気をつけろ…）

内野は後退する。

紀葉

（サードに來い、捌いたる）

「むゝぎ! むゝぎ! むゝぎ!」

広島応援団の元、レフトスタンドではスクワット応援が行われる。

セブンの独り言

(最初はボールで)

i k k i

(了解)

【ピシュ!】

琴吹紬

(フフフ…)

【カキイン!】

i k k i

「な!」

外のボール球を振った。

しかも…

しら

「はっや!」

ファーストを抜けた。

しら

「なんだ今の!？」

紀葉

「はええ…」

琴吹紬

「フフフ…」

ikk i

「またノーアウトでランナーか…」

アナウンス

「六番、レフト、真鍋和」

平沢憂同様に打てる6番打者である。

真鍋和

（上手く風に乗せて行けば）

そう考える真鍋和

紀葉

（風に乗せるかも）

ikk iさんが振りかぶって投げる。

【ピシュ!】

内角高めの直球だ。

【カキイン！】

それを打つ。

s c a r l e t

「とれへんわ」

打球はちよつと押し戻されてセンター前に

千歳涼介

「これで無死1、2塁かあ」

アナウンス

「七番、セカンド、鈴木純」

紀葉

「タイムお願いします」

小寺塁審

「タイム！」

紀葉さんがマウンドに駆けつける。

紀葉

「i k k iさん、4点リードなんでのんびり行きましょーよ」

i k k i

「そうですね、4点取られてもいいんですから」

紀葉さんがサードに戻り、試合再開

山中さわ子

「4点ビハインドよ！この回1点でも多く返すわよ！」

ikk iさんが振りかぶって投げる。

【ピシュ！】

鈴木純

「わっ！」

敷田主審

「ストライク！」

鈴木純

（手前で球が伸びてる…）

セブンの独り言

（吹っ切れたようだな）

ikk i

（今の俺はド真ん中に投げても打たれないぜ！！）

セブンの独り言

（外角高めに変化球）

ikk i

(了解！)

【ピシュ！】

鈴木純

「う！」

敷田主審

「ストライクツウ！」

鈴木純

(今の振ったら確実にゲッツーだった…)

セブンの独り言

(引っかれよ…)

そう悪態をつくセブンの独り言

セブンの独り言

(それでは内角低めに沈むシンカーで、ボールになってもいいです)

i k k i

(はい)

【ピシュ！】

鈴木純

「これ打てる！」

【カキイン！】

打球はショートへ

ウルトラマンゼロ

「シュワチ！」

ウルトラマンゼロさんが思い切りジャンプするが…

小寺墨審

「フェア！」

レフトへヒット

無死満塁

アナウンス

「八番、センター、奥田直」

「誰だあゝ！？」

観客の野次が飛ぶ

今年から始まった「けいおん！在校生編」の新キャラである。

奥田直

「はあゝ…」

果てしなく奥田直は落ち込んでいる。

奥田直

（なんで斉藤さんが選ばれないのですか？）

セブンの独り言

（まあコイツだったら満塁HR無いな…）

i k k i

（代打出してやれよ…）

i k k iさんも低評価だ。

セブンの独り言

（ここでゲッツーにしますか）

i k k i

（はい）

【ピシュ！】

奥田直

「わぁ！」

敷田主審

「ストライク！」

セブンの独り言

「ビビってんの？」

奥田直

「え…」

セブンの独り言

(雑魚だから別にド真ん中でもいいよ)

i k k i

(はい)

【ピシュ!】

奥田直

「あ!」

【カアキン!】

紀葉

「よっと」

【バシッ!】

小寺塁審

「フェア!」

打球は三塁紀葉へ

紀葉さんが三塁ランナーの琴吹紬を確認すると

ホームフォースアウトには間に合う

しかし紀葉さんは三塁を踏む

小寺塁審

「アウト！」

三塁フォースアウト

紀葉

「セカンドオ！」

セカンドへ送球。

s c a r l e t

「よっしゃあ！」

s c a r l e tさんが二塁踏んでセカンドフォースアウト。

s c a r l e t

「しらさん！」

s c a r l e tさんがしらさんに送球する。

最悪トリプルプレーだが

奥田直

「わあああ！」

こけたようなヘッドスライディングだが

村田塁審

「セーフ！」

「うおおおお！」

ゲッツーだが1点を返した。

小説4―1桜ヶ丘

奥田直

「ハアア〜」

しら

「ナイスファイト」

奥田直

「あ、ありがとうございます…」

アナウンス

「九番、ピッチャー、平沢唯」

「ゆーいちゃん！」

平沢唯

「よっし！」

セブンの独り言

（コイツは良く分からないな…天然キャラだけに）

i k k i

（どうします？）

セブンの独り言

(とりあえず内角に威嚇)

i k k i

(威嚇ですね)

【ピシュ!】

平沢唯

「ヒャア!」

敷田主審

「ボール!」

阪神虎之介

(危ないな今の…)

セブンの独り言

(やり過ぎ…今の失敗したら危険球退場だぞ…)

i k k i

(威嚇だけに)

セブンの独り言

(次は外角で)

【ピシュ!】

【カキイン!】

i k k i

「よっしゃあ！」

i k k iさんが捕球し一塁へ

村田塁審

「アウト！」

無死満塁から紀葉さんのナイス判断力もあり1点で抑えた。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】2回表（後書き）

桜ヶ丘 01 — 1

小説 4 — 4

【桜ヶ丘】

平沢唯／田井中律

【小説】

i k k i／セブンの独り言

？ 琴吹紬

目の覚めるような弾道でライトにヒット

？ 真鍋和

風に上手く乗せてセンターにヒット

？ 鈴木純

レフト前ヒット

？ 奥田直

サードゴロで紀葉さんがホームフォースアウトよりゲッツーかトリプルプレーにした方がいいと判断し、ゲッツーに

？平沢唯

内角への威嚇球でビビったのかと思いきや外角のボールは打ったが
ピッチャーゴロ

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】2回裏

4ー1と小説ウィテングス3点リードの中、打席にはscarle
tさんが立った。

平沢唯

「よし！」

田井中律

「しまっていくぞー！」

そう叫んで田井中律はマスクを被る

田井中律

（最初はチェンジアップだ）

平沢唯

（うん！）

【ピシュ！】

【カキン！】

田井中律

「セカンドオ！」

鈴木純が華麗に捌いて1アウト。

アナウンス

「九番、ピッチャー、i k k i」

i k k iさんが打席に立つ。

i k k i

（俺ピッチャーだからここは三振で行こう）

そして：

敷田主審

「ストライクバッターアウトウ！」

それと同時に名物の「㐂」が見れた。

阪神虎之介

「あれが敷田さんの㐂かあ」

バッターは一巡して一番双樹楨

運動会でお馴染みの「天国と地獄」が流れる。

平沢憂

（またセーフティーがあるかも…）

平沢憂が前進する。

田井中律

（こいつには初球チェンジアップで…、セーフティーがあるかも知れないから）

律もそう考える。

平沢唯

（わかった）

【ピシュ！】

【サツ】

敷田主審

「ボール！」

ちょっと低め過ぎてボール。

田井中律

「次は高めに直球」

平沢唯

「わかった」

【ピシュ！】

すると双樹槇が、バットを持ち替える。

田井中律

「しまった！」

【カキーン！】

バスターである。

前進守備の平沢憂へ流し打つ

平沢憂

「キャア！」

しかし打球は

中野梓

「ニャア！」

中野梓がキャッチ！

そして送球。

村田墨審

「アウト」

3者凡退

阪神虎之介

「嫌だなあ…この感じ…」

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】2回裏（後書き）

【2回裏終了】

桜ヶ丘 01 — 1

小説 40 — 4

【桜ヶ丘】

平沢唯／田井中律

【小説】

i k k i／セブンの独り言

? s c a r l e t

チェンジアップを打つがセカンドゴロ

? i k k i

見逃し三振

? 双樹槇

バスターするが中野梓のファインプレーでチェンジ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6439z/>

熱血！アニメゲームリーグ戦

2011年12月24日00時53分発行